

消防部

平成28年度 重点目標

- 1 消防団体制の充実・強化
- 2 市民への防火対策の推進及び応急手当の普及推進
- 3 消防水利の充実・強化
- 4 上田広域消防本部体制の充実・強化の推進

重点目標	消防団体制の充実・強化			部局名	消防部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第7節 地域防災力の向上と災害対応能力の強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け		- 2 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	消防団は消火活動や災害時の活動に従事するとともに、災害を減らすための予防活動に従事しており、住民が安全で安心な生活を送るうえで欠かすことができない組織であり、地域防災の中核として大きな役割を果たしています。一方、少子高齢化の進展、社会情勢の変化等により、消防団員の減少、サラリーマン団員の増加等の要因により、地域における防災力の低下が全国的に懸念される中、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行を受けて、平成27年12月に消防審議会から「消防団を中核とした地域防災力の充実強化の在り方に関する答申」が出され、消防団員の確保、処遇の改善、装備や教育訓練の改善により消防団の強化を図るよう示されました。上田市としても消防団員の確保や装備等の充実に積極的に取り組んでまいります。						
目的・効果	消防団への市民等の加入促進を積極的に行うとともに、消防団員の処遇改善、装備の充実など消防団活動の充実強化のための施策に取り組むことにより、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を一層推進し、地域における防災体制の強化を目指します。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
消防団活動の住民及び事業所への周知及び理解による消防団員の確保（消防団活動に対する広報及び周知を行い、住民及び事業所の理解を深め、団員数の確保を図ります。また団員の処遇改善についても研究してまいります。）	通年	消防団員の定数確保（2,270人）	消防団員の定数確保の取組（進捗度95%） (1)消防団員数 4月4日 2,139人 9月30日現在 2,162人（23人増） (2)市役所新規採用職員研修において、消防団活動に関する講義及び入団の勧誘を実施 (3)「広報うえだ」において、消防団活動を紹介し、住民の理解を求めるとともに入団PRを実施 (4)新入団員勧誘チラシを成人式で2,000部配布予定 (5)消防団協力事業所認定の更新47件、新規6件 (6)信州消防団員応援ショップ事業 登録店舗79件	消防団員の定数確保の取組（達成度95%） (1)消防団員数 4月4日 2,139人 3月31日現在 2,169人（30人増） (2)市役所新規採用職員研修において、消防団活動に関する講義及び入団の勧誘を実施 (3)「広報うえだ」において、消防団活動を紹介し、住民の理解を求めるとともに入団PRを実施 (4)新入団員勧誘チラシを成人式で1,370部配布 (5)消防団協力事業所認定の更新64件、新規9件 (6)信州消防団員応援ショップ事業 登録店舗90件			
消防団拠点施設及び消防団装備の充実 (1)消防団詰所の新築 (2)消防車両の更新 ・消防ポンプ車 ・軽積載車 (3)小型動力ポンプの更新 (4)安全確保のための装備品の配備	年度内	消防団拠点施設及び消防団装備の充実 (1)消防団詰所の新築工事：1箇所 ・本原分団 (2)消防車両の更新：5台 ・消防ポンプ車(2台) 8分団、本原分団 ・軽積載車(3台) 6分団、丸子第1分団、丸子第2分団 (3)小型動力ポンプの更新：3台 ・14分団、19分団、本原分団 (4)安全確保のための装備品の配備 ・救助用半長靴（500足） ・耐切創性手袋（500双） ・拡声器、防塵メガネ	消防団拠点施設及び消防団装備の整備状況 (1)消防団詰所の新築工事：1箇所 ・本原分団詰所 造成工事 5月2日契約 7月28日竣工 本体工事 6月3日契約 12月22日完成期限 (2)消防団車両の更新：5台 ・消防ポンプ車(2台) 6月27日契約 平成29年3月31日納車期限 ・軽積載車(3台) 6月16日契約 平成29年2月28日納車期限 (3)小型動力ポンプの更新：3台 ・6月16日契約 平成29年2月28日納入期限 (4)安全確保のための装備品の配備 ・救助用半長靴 500足 8月29日納入 ・耐切創性手袋 500双 平成29年2月28日納入期限 ・防塵メガネのみ購入 29個 平成29年2月28日納入期限	消防団拠点施設及び消防団装備の整備状況 (1)消防団詰所の新築工事：1箇所（達成度100%） ・本原分団詰所 造成工事 7月28日竣工 本体工事 12月22日竣工 (2)消防団車両の更新：5台（達成度100%） ・消防ポンプ車(2台) 6月27日契約 平成28年11月25日納車 ・軽積載車(3台) 6月16日契約 平成29年2月14日納車 (3)小型動力ポンプの更新：3台（達成度100%） ・10月31日納入 (4)安全確保のための装備品の配備（達成度100%） ・救助用半長靴 500足 平成28年8月29日納入 ・耐切創性手袋 500双 平成28年11月22日納入 ・防塵メガネ 29個 平成28年10月21日納入			
市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点	取組による効果・残された課題						

重点目標	市民への防火対策の推進及び応急手当の普及の推進			部局名	消防部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第7節 地域防災力の向上と災害対応能力の強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け		- 2 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	平成27年中の上田市の火災件数は45件で、前年の69件と比べ24件の大幅な減少となりました。このうち、建物火災は20件で、前年の39件と比べほぼ半減しました。このことを踏まえ、引き続き建物火災の減少を推進するため、住宅及び事業所等における防火対策の啓発に努めてまいります。出火原因については、「たき火」によるものが最も多かったことから、広報及び巡回パトロールなどを通じて、実施者に対し、火災予防の啓発を図ってまいります。また、全国における住宅火災による死者数は減少傾向にあるものの、高齢化社会を迎え、高齢者の死者数は、近年、ほぼ横ばい状態で推移していることから、高齢者への防火対策を継続的に推進するとともに、幼少年に対しても防災教育を実施し、幼少期から防火意識の高揚を促進してまいります。 公共施設、事業所及び教育施設では、AEDの設置が進み市民による応急手当のニーズは高まっています。傷病者の救命率の向上には応急手当が必要不可欠であることから、その普及啓発について継続的に実施してまいります。						
目的・効果	市民・事業所等への防火対策の啓発を図るため、防火講習や各種消防訓練を実施することにより、火災予防への意識の高揚を図り、また、住宅防火については、高齢者を中心とした防火に関する指導を重点的に行うことにより、火災による死傷者や火災発生件数の減少を図り、火災から市民の安全を確保します。 応急手当につきましては、正しい知識、技術を身につけることにより、傷病者の救命率及び予後の向上が期待できます。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
市民・事業所への防火対策の推進 (1)高齢者への住宅防火対策の指導 (2)防火講習、各種訓練の開催 (3)事業所への立入検査の実施 (4)広報誌等の活用による周知	通年	市民・事業所への防火対策の推進 (1)高齢者宅防火訪問：160件 (2)自治会・事業所等の防火講習：200回 (3)立入検査：700件 (4)防火広報：12回	市民・事業所への防火対策の推進状況 (1)高齢者宅防火訪問を、秋季及び春季全国火災予防運動に併せ実施予定 (2)自治会、事業所等への防火講習等 76回実施 (進捗度 38%) (3)事業所への立入検査 455回実施 (進捗度 65%) (4)広報誌等による防火広報 4回実施 (進捗度 33%)	市民・事業所への防火対策の推進状況 (1)高齢者宅防火訪問160件実施 (達成度100%) (2)自治会、事業所等への防火講習等143回実施 (達成度72%) (3)事業所への立入検査1,084回実施 (達成度155%) (4)広報誌等による防火広報12回実施 (達成度100%)			
幼少年への防火・防災知識の普及	通年	幼少年への防火・防災知識の普及 幼少年対象の防火・防災教育：120回	幼少年への防火・防災知識の普及状況 保育園、幼稚園及び小中学校の避難訓練、防災講習等 80回実施 (進捗度 66%)	幼少年への防火・防災知識の普及 保育園、幼稚園及び小中学校の避難訓練、防災講習等 90回実施 (達成度75%)			
市民に対する応急手当の普及促進 毎月1回の定期開催（上田地域広域連合）の他、各団体からの依頼による講習会の実施	通年	市民に対する応急手当の普及促進 普通救命講習及び上級救命講習受講者数 ：1,400人	市民に対する応急手当の普及促進 普通・上級救命講習の受講者数 927人 (進捗度 66%)	市民に対する応急手当の普及促進 普通・上級救命講習の受講者数1,413人 (達成度101%)			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題 ・自治会・事業所等の防火講習及び幼少年対象の防火・防災教育については、立入検査等により防火対策の推進を図る中、対象となる事業所等からの受講申請数が、目標に達しなかった。				

重点目標	消防水利の充実・強化			部局名	消防部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第7節 地域防災力の向上と災害対応能力の強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け		- 2 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	<p>消火活動を実施するに当たり消防水利は必要不可欠な施設であり、防火水槽は現在869基が設置され、そのうち「消防水利の基準」に適合する40㎡以上の防火水槽は389基あり全体の約44%となっています。さらに、基準に適合する防火水槽のうち耐震性防火水槽は101基で約26%に当たります。耐震性防火水槽を計画的に設置するとともに、老朽化した既存の防火水槽を耐震性防火水槽に更新し、大規模震災時の消防水利や被災者住民の生活用水を確保し、震災に強い消防水利の充実・強化を図ってまいります。</p> <p>また、消火栓は現在4,581基設置されておりますが、消防水利が不足している箇所へ計画的に設置するとともに、上下水道局が実施する配水管敷設替え工事に伴う消火栓の増強により、消火栓においても同様に充実・強化を図ってまいります。</p>						
目的・効果	<p>耐震性防火水槽は、震災時等の断水時にも消防用水を確保できることから、最も信頼できる消防水利であり災害に強いまちづくりに寄与します。</p> <p>また、消防水利が不足する箇所への消火栓の設置は、火災発生時の住民等による初期消火が可能となり、被害の拡大が防止できます。</p>						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
耐震性防火水槽の設置 (1)上田地域 ・学海南 ・中之条 ・西野竹 (2)丸子地域 ・南方 (3)真田地域 ・中原	年度内	耐震性防火水槽の設置 5基設置 (1)上田地域 ・学海南 ・中之条 ・西野竹 (2)丸子地域 ・南方 (3)真田地域 ・中原	耐震性防火水槽の設置状況（進捗度 25%） 国庫補助申請5基のうち4基採択 1基が完成、3基が工事中 (1)上田地域 ・学海南 8月 5日契約 12月 9日完了期限 ・中之条 5月15日契約 9月20日完了 (2)丸子地域 ・南方 7月 8日契約 11月 1日完了期限 (3)真田地域 ・中原 7月11日契約 12月28日完了期限		耐震性防火水槽の設置状況（達成度100%） 国庫補助申請5基のうち4基採択 4基が完成 (1)上田地域 ・学海南 11月29日完了 ・中之条 9月20日完了 (2)丸子地域 ・南方 11月11日完了 (3)真田地域 ・中原 1月27日完了		
消火栓の新設	年度内	消火栓の新設 5基設置 (1)上田地域 ・常磐城 ・下之条 ・住吉 ・上塩尻 (2)丸子地域 ・塩川	消火栓の新設状況（進捗度 20%） 5基工事申込済、うち丸子地域の1基完成 (1)上田地域 ・常磐城 5月16日契約 10月31日完了期限 ・下之条 5月16日契約 10月31日完了期限 ・住吉 5月16日契約 10月31日完了期限 ・上塩尻 未契約 (2)丸子地域 ・塩川 9月8日完了		消火栓の新設状況（進捗度100%） 5基完成 (1)上田地域 ・常磐城 11月29日完了 ・下之条 10月11日完了 ・住吉 10月 6日完了 (2)丸子地域 ・塩川 9月 8日完了 ・下丸子 2月17日契約 3月30日完了(上塩尻から変更)		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				

重点目標	上田広域消防本部体制の充実・強化の推進			部局名	消防部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第7節 地域防災力の向上と災害対応能力の強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 施策体系	2014市長マニフェスト における位置付け	- 2 -		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け							
現況・課題	<p>上田地域広域連合消防本部では、平成26年度から本格的に消防本部庁舎耐震化及び増改築事業に取り組み、27年9月末には庁舎の工事を終えて防災拠点の安全性が確保されました。今年度はこの事業の附帯工事として、消防車両及び資機材を格納する車庫棟及び資材庫の新築工事を施工し、本事業の完了に向けて工事を進めてまいります。</p> <p>住民の安全・安心の要として、消防が災害発生時において最大限の効果をあげるために、消防自動車及び救急自動車の更新整備を計画的に行い、消防力の維持確保を図ってまいります。</p> <p>27年度の救急出動は9,344件で、年々増加の傾向にあり、高齢化の進展とともに救急需要の増加が見込まれます。また、年間の119番処理が1万1千件を超え、ドクターヘリの要請件数も増加するなど、消防業務全体の業務量が増加する中、国が示す消防力の整備指針に基づき消防職員数の適正化と併せて、課署の体制や車両配置、署の整備計画等の見直しを行う必要があります。</p>						
目的・効果	<p>消防本部庁舎工事に伴い、車庫内に駐車できない消防車両について、防犯対策が取れないこと及び冬季の迅速な出動に支障があることから、消防本部敷地内に車庫棟を建設することにより、防犯対策及び迅速な出動を確保します。また、資材庫の建設により、資機材の管理の徹底を図ります。本工事により消防本部庁舎耐震化及び増改築事業で計画したすべての工事が完了します。</p> <p>消防車両の更新計画に沿って、車両の安全性の向上及び消防装備の強化を図るとともに、有事に備えた機動力及び機能性等、消防力の充実強化を図ることで住民の安全・安心を確保します。</p> <p>また、大規模災害時や県内の医療機関等で開催される救急研修会などへ、多くの職員を参加させるための車両を整備します。</p>						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
	消防本部庁舎耐震化及び増改築事業 消防本部車庫棟及び資材庫の新築工事	12月	消防本部庁舎耐震化及び増改築事業 消防本部車庫棟及び資材庫	消防本部庁舎の耐震化及び増改築状況 消防本部車庫棟及び資材庫 9月8日契約 12月15日完了期限	消防本部庁舎の耐震化及び増改築状況（達成度100%） 消防本部車庫棟及び資材庫 1月18日竣工		
	消防車両等資機材整備 (1)水槽付き消防ポンプ自動車の更新 ・東御署 ・依田窪南部署 (2)人員搬送車の更新 ・総務課	年度内	消防車両等資機材整備 (1)水槽付き消防ポンプ自動車の更新(2台) ・東御署 ・依田窪南部署 (2)人員搬送車の更新(1台) ・総務課	消防車両等資機材整備 (1)水槽付き消防ポンプ自動車の更新(2台) ・東御署 5月23日契約 1月16日納車期限 ・依田窪南部署 5月23日契約 1月16日納車期限 (2)人員搬送車の更新(1台) ・総務課 車庫棟の完成に合わせ契約予定	消防車両等資機材整備 (1)水槽付き消防ポンプ自動車の更新：2台（達成度100%） ・東御署 1月 5日納車 ・依田窪南部署 1月12日納車 (2)人員搬送車の更新：1台（達成度100%） ・総務課 3月 9日納車		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題			